

Traders Market Report

【トレイダーズ・マーケット・レポート】
トレイダーズ・アイ



毎週月曜日(祝祭日除く)発行

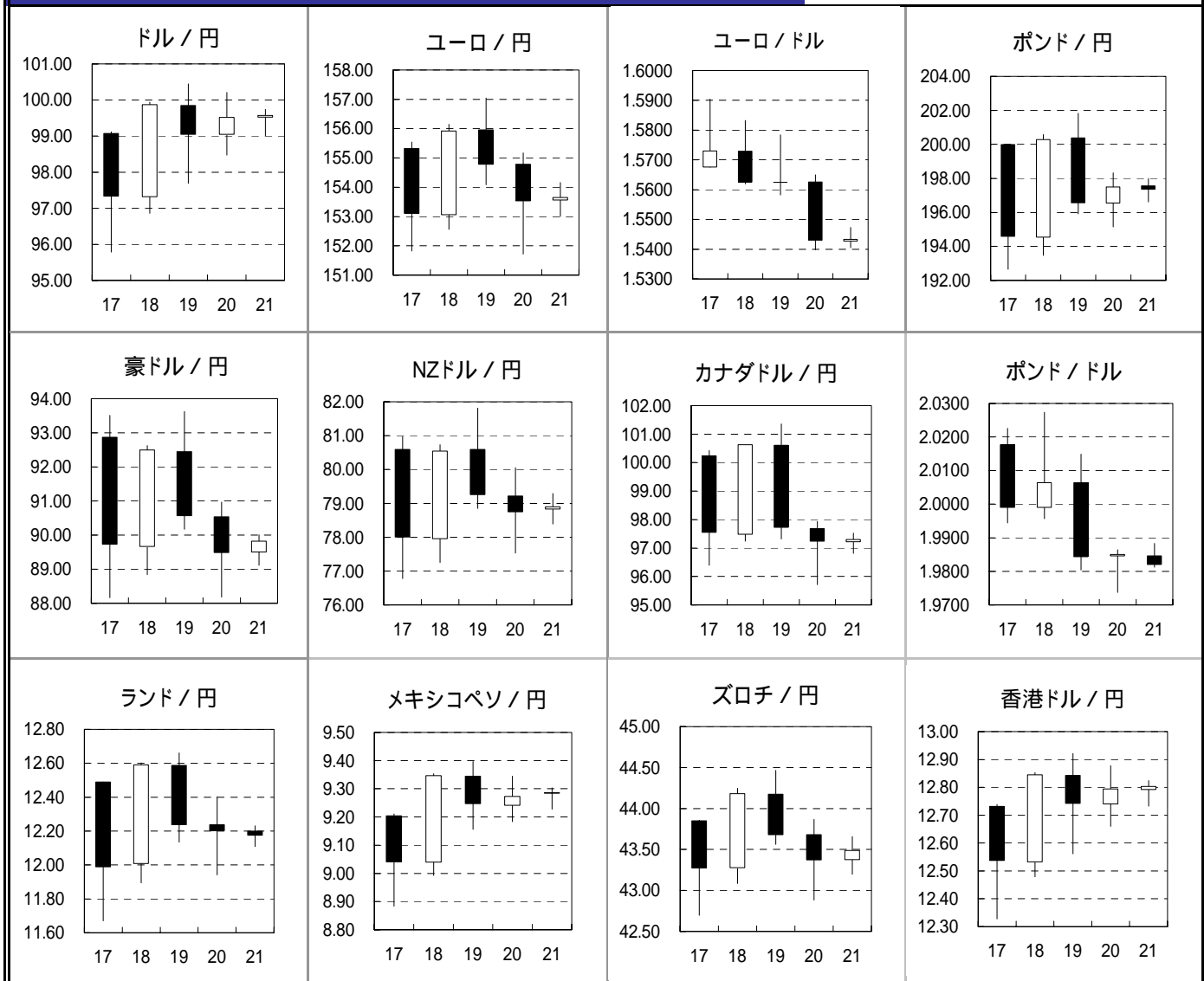
平成20年3月24日

【週刊】 為替レポート

トレイダーズ・アイは2008年3月31日をもって廃刊となります。

World Market Review for last week

2008/3/17 ~ 2008/3/21



通貨の高値と安値はインターバンクにおける瞬間値です。参考値としてお考えください。

先週のマーケットポイント

17日	米FRB、公定歩合を3.25%に引き下げ即日実施
17日	米JPモルガン・チェース、ベアー・スターンズ買収へ
18日	2月英消費者物価指数は前年比+2.5%、昨年5月以来の高水準 = 統計局
18日	中国が預金準備率を0.5%ポイント引き上げ、3月25日から実施 = 人民銀行
18日	2月の米住宅着工件数は0.6%、許可件数は7.8% = 商務省
18日	米FOMC、FF金利の誘導目標を0.75%引き下げ2.25%に
18日	FOMCは持続可能な経済成長や物価安定を促進するため、必要に応じてタイムリーに行動する = FOMC声明
19日	景気回復はこのところ足踏み状態、基調判断を2カ月連続で下方修正 = 3月月例経済報告
19日	3月の英中銀金融政策委員会は7対2で金利据え置きを決定、ギブ副総裁らが利下げ主張 = 議事録
20日	米新規失業保険申請件数は37.8万件、前週は35.6万件 = 労働省
20日	3月の米フィラデルフィア地区連銀業況指数は17.4、前月の24.0から上昇

当レポートの著作権はトレイダーズ証券に属し、許可無く複製等を行うことは出来ません。情報に関しては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。万一この情報に基づき被った損害について、トレイダーズ証券は責任を負いかねます。また、掲載されている事項は、トレイダーズ証券のご案内のほか、外国為替・株式等の投資一般に関する情報の提供を目的としたものではありません。最終的な投資の意思決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い致します。なお、金融先物取引は価格又は金融指標の数値により損失が生ずる恐れがあり、発生する損失が預託された金額を超える場合があります。事前にお渡した契約締結前書面又は説明書をよくお読みください。

先週の外国為替市場では、米ドルが月曜日こそ売られたものの、その後は主要通貨に対して買い戻される展開となった。

週明け月曜日の外国為替市場は波乱含みとなった。午前中に、FRBが公定歩合を引き下げたことや、ベア・スターンズがJ.P.モルガンチェースに買収されることが伝わった。にも関わらず、金融システムに対する懸念を緩和するには至らず、むしろ事態の深刻さが浮き彫りになる格好となった。この日の日経平均株価は大幅に下げ、ドル/円、クロス円はともに総崩れとなった。また、ドルの上値もおさえられ、ドル/円相場が朝方の数時間で99円台から95円台に突っ込む動きを見せたほか、ドルはユーロやスイスフランに対しても過去最安値を記録した。

しかし火曜日以降は、不安視されていた米金融機関の決算発表が、市場予想ほど悪くなかったことなどが支援材料となり米国株式市場は持ち直す動きを見せた。18日に行われたFOMC(米連邦公開市場委員会)での利下げ幅が0.75%に留まり、発表直後には失望売りから株式が売られる場面もあったが、声明文の中で追加利下げに対する姿勢も読み取れたことから、株式市場は急速に持ち直した。

それと同時に、米ドルも主要通貨に対して買い戻される展開に。ドル/円相場は99円台まで戻して先週の取引を終えた。

なお日本は、日銀総裁・副総裁人事問題でゆれた。与党は月

曜日に、福井総裁と武藤副総裁の継続を打診したが、民主党に即却下された。そのあと、田波氏を総裁候補に提示するも、これも民主党から一蹴され、日銀総裁の席は史上初の空席という事態になっている。
< 及川 佳奈子 >

Historical Data Weekly O-H-L-C

USD/JPY	98.44-98.49	100.44-100.48	95.74-95.79	99.35-99.50
EUR/USD	1.5723-1.5728	1.5901-1.5906	1.5394-1.5399	1.5436-1.5446
EUR/JPY	154.84-154.91	156.98-157.05	151.70-151.77	153.38-153.58
GBP/USD	2.0168-2.0176	2.027-2.0278	1.9731-1.9739	1.9814-1.9834
GBP/JPY	198.59-198.74	201.77-201.89	192.54-192.69	196.90-197.30
AUD/JPY	92.18-92.27	93.61-93.66	88.08-88.19	89.54-89.74
NZD/JPY	79.86-79.98	81.76-81.86	76.73-76.83	78.66-78.86
CAD/JPY	99.64-99.74	101.31-101.39	95.65-95.75	97.01-97.21
MXN/JPY	9.12-9.17	9.38-9.41	8.82-8.87	9.24-9.31
ZAR/JPY	12.36-12.46	12.61-12.69	11.57-11.67	12.08-12.23
PLN/JPY	43.53-43.68	44.66-44.78	42.61-42.73	43.33-43.53
HKD/JPY	43.53-43.68	44.66-44.78	42.61-42.73	43.33-43.53

Market Point

トレーダーズTV

朝9:00 ~ 昼12:00 ~ 夕17:00 ~



FXシミュレーションゲーム「Net Forex ダービー」

参加無料！ 賞品総額100万円！

番組を見る <http://www.traderssec.com/traderstv/mpoint/>

詳しくは <http://www.traderssec.com/nfd/>

<<Market Outlook>> - 今週 -

(3/24 MON ~ 3/28 FRI)

21日のニューヨーク外国為替市場はイースターで米国の株式、債券、商品市場が休場だったため市場参加者や取引量が少なく、終日小動きであった。注目される米経済指標の発表もなく、動意に乏しい展開となった。ドル円は99円台半ば、ユーロドルは1.54台半ばを中心としたレンジ内で方向感のない相場であった。

先週は、信用リスクに対する不安から投資家がリスク回避を優先したために、ドルと円が共に強含み、結果ドル円は95.77をつけた後はレンジ相場となり、クロス円が大きく下落することとなった。

ドルが上昇した背景には、米大手証券の決算発表が市場の予想の範囲内であったことから、米国金融セクターに対しての見方が一旦落ち着きを取り戻したことがあげられよう。その反面、カナダや欧州など米国以外の金融部門に対する不安感が誘発されたことも否めない。さらに、過熱していたコモディティ価格が下落したこともドルが堅調であった理由とされるだろう。

今週の為替相場の焦点はイースター休暇明けの欧米勢の出方に注目が集まる。前週後半と同様、信用不安とリスク回避の傾向が継続するようであれば、コモディティや欧州、オセアニア通貨建て資産に向かって資金の巻き戻し現象が起りやすい。この場合、クロス円がさらに下落する場面も想定できる。

この観点からは、26日水曜日に発表されるドイツ3月IFO景況感指数に最も注目が集まるところだ。しかし、米景気の先行き不透明感が消えたわけではないので、中長期スタンスでのドル売りが復活して前週とは様相は一変する可能性もある。

テクニカル面からは、当面の安値は前週初に記録した95.77で、上値の目処を100円台半ばから101円まで、とみる意見が多いようだ。100円台では、売り遅れている実需筋からのドル売りも多くなると予想されるので、チャートを重視して戻り売りをすする動きと相まって、ドル円が三桁の水準で取引される時間は長

くなる可能性は低い、とみる。一方、最安値水準に近づけば、前週は急な相場の動きに対応できなかった中長期のドル買いニーズがかなり控えている、との情報もある。

米国経済指標では、本日24日発表の2月の米中古住宅販売件数や25日の1月ケース・シラー住宅価格指数、1月OFHEO住宅価格指数、3月の米消費者信頼感指数、26日発表になる2月の米耐久財受注額と同月の米新築住宅販売件数、27日新規失業保険申請件数、金曜28日は2月個人消費支出、コアPCEデフレーターなどに注目度が高い。

また、今週は水曜日から金曜日にかけて各地区連銀総裁や理事などの発言が多く予定されている。4月のFOMCの利下げを予想する意味でも注目度は高い。

需給面では、3月の決算期末接近で機関投資家や輸出入企業など大口為替顧客の動きは鈍りそうだ。ただ、ドル円が101円台を越えるなどヘッジ売りのターゲットゾーンになれば駆け込み的な売買も想定すべきだろう。

< トレーダーズ投資顧問 藤田 規之 >

当レポートの著作権はトレーダーズ証券に属し、許可無く複製等を行うことは出来ません。情報に関しては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。万が一この情報に基づき被った損害については、トレーダーズ証券は責任を負いかねます。また、掲載されている事項は、トレーダーズ証券のご案内のほか、外国為替・株式等の投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。最終的な投資の意思決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い致します。なお、金融先物取引は価格又は金融指標の数値により損失が生ずる恐れがあり、発生する損失が預託された金額を超える場合もあります。事前にお渡した契約締結前書面又は説明書をよくお読みください。

今週のマーケット予想

3/24 ~ 3/28の週

	96.00	97.00	98.00	99.00	100.00	101.00	102.00
USD/JPY							
EUR/JPY	150.00	151.00	152.00	153.00	154.00	155.00	156.00
EUR/USD	1.5000	1.5100	1.5200	1.5300	1.5400	1.5500	1.5600
AUD/JPY	86.00	87.00	88.00	89.00	90.00	91.00	92.00

レンジ予想は営業企画課によるものです。

今週の重要指標発表予定

マーケットカレンダー移行のお知らせ

今週の重要指標発表予定は、以下に引っ越しました。

【週間カレンダー】

<http://www.traderssec.com/forex/calendar/>

一部の指標におきましては過去データを表示させるなど多機能なカレンダーに仕上がっています。お取引の際に、ぜひご活用ください。

트레이ダーズ・アイ廃刊のお知らせ

トレーダーズ・アイは2008年3月31日をもちまして廃刊となります。長い間、ご愛読いただきましてありがとうございました。

なお、週間相場見通しにつきましては森レポート(お客様限定)およびマーケットウォッチでご確認いただきますようお願い申し上げます。

【森レポート】

<http://www.traderssec.com/invest/forex/mori.php>

【マーケットウォッチ】

http://www.traderssec.com/invest/forex/fx_condition.html